



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹



2月の全校朝会より



皆さん、おはようございます。

最近、たいへん寒い日が続いていますね。また、インフルエンザの流行で、春日小でもさらに広がらないように、5つのクラスで学級閉鎖をしました。まだ油断はできません。これからも、引き続き、教室の空気の入替え、手洗い・うがい、自分たちでできることをしてください。

今日は、最近起こった校長先生が心を打たれた出来事を2つ話します。

まず1つ目です。学校に一枚の封筒が届きました。表には、「福岡ドームのところに落ちていました」と書かれていました。封筒の中には、春日小学校の友達の名札が入っていました。わざわざ春日小まで持ってきてくださったのです。しかも、誰が届けたのかは、名前がないのでわかりません。きっと落とした子どもが困ると思い、届けてくださったのだらうと思います。もしかすると、遠くから来ていただいたのかもしれないね。

もう一つは、校長先生の話です。校長先生は久留米から来ています。1時間くらい学校までかかります。今週の火曜日、車でいつものように来ていると、途中で車の調子が悪くなりました。丁度、ガソリンスタンドがあったので、そこに入りました。でも、それから、まったく車は動きません。修理をする方をそこに呼んで、修理するところまで、運んでもらうことにしました。すると、そのガソリンスタンドの方が、先生をわざわざ駅まで送ってくださったのです。校長先生は車が動かなくなったのは、ショックでしたが、何だかとても嬉しい気持ちになりました。

この2つの話から、人が困っているとき、自分がどんな行動がとれるか、相手の気持ちになって考えることの大切さを学びました。人から親切にされた人は、きっと自分もそうすると思います。

さて、昔から、「1月は行く 2月は逃げる、3月は去る」と言います。学校に来る日も3月まで、そうありません。友達と仲良く、大切な時間を使って、しっかりと新しく始まる4月の準備をしてください。



「楽 明 夢 優 幸 光 和 希 輝 美」

～人権・同和教育研究大会 分科会「子ども理解」より～

小学生の子どもが、「自分の好きな漢字ベスト10」を表すところなるそうです。

子どもたちの思いや願いが、この漢字1文字1文字に詰まっているような気がします。未来ある希望溢れる子どもたちの思いを周りの大人が、しっかりと受け止め、子どもの夢が叶う未来であって欲しいものです。

一人一人が自分の人生を大切にして、生きていくためにも、周りの大人が「環境」を整えてやるのが大切になってくると思います。